

明海大学不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第207回

【学生の目】

低層の建物が並ぶ住宅街を歩いてみるとひととき目立つマンションが目に入った。建物、外構、植栽が一体化した大きな彫刻のようで、一般の建物とは異なる存在感がある。

まず、古風で無機

質な鉄を多く用いている。最近の建物は、軽量で錆に強いアルミの手摺りを使うことが多い。錆びない材料として、高価なステンレスを使うこともあるが、肉厚が薄いなど、重厚感に欠ける。これに対してその建物は、錆に弱く、かつ、重いために敬



武田 亜輝士
不動産学部3年

彫刻のような建物

正方形の立面と鉄の重厚感も

遠されがちな鉄を用い、遠目からも目立つ個性的なデザインによって、建物の存在感を高めている。次に、建物の立面を九つの正方形に区切る、縦横の壁の間に手摺りがはめ込まれている。正方形は力強さを感じさせる形状で、鉄製の手摺りの重量感と調和している。縦横の壁には色の異なるタイルが市松模様に見え、正方形の枠組みをさらに強調している。

クリートの上に、鉄板を目透して張るという斬新なものである。鉄筋コンクリートの塀は、一般に、打ち放し、剥き出し、タイル張りや塗装で仕上げ、鉄で化粧するのは珍しい。二点目は、塀の足元にある、種類も植え方も独特な植栽。三点目は、アプローチに張られた白基調のタイルで、いずれも無機質感を演出している。

無機質な感じは、生えそろうた植



重厚感あふれる外観から目と引きつるマンション

正方形の枠組みの中には極力、余計なものが見えないようにしている点も重要だ。ベランダ天井に室外機を吊るさない、水勾配を建物側にとって樋をベランダの奥に設置するなどである。また、住戸間の仕切り板は縦の壁が隠している。

無機質な感じは外部にも共通する。その一点目は、外構にも鉄が用いられる。敷地正面の塀は鉄筋コン

クリートの上に、鉄板を目透して張るという斬新なものである。鉄筋コンクリートの塀は、一般に、打ち放し、剥き出し、タイル張りや塗装で仕上げ、鉄で化粧するのは珍しい。二点目は、塀の足元にある、種類も植え方も独特な植栽。三点目は、アプローチに張られた白基調のタイルで、いずれも無機質感を演出している。

易ではなく、損傷した建物という負の評価も付きまとう。リノベーションや改修工事でもオシャレ感を崩さずに生かす工夫は、構造物でも必要と思う。

【教員のコメント】

ユネスコ世界文化遺産に指定された上野の国立西洋美術館は、彫刻的な美しさを持つ建築で、20世紀の巨匠ル・コルビュジェの設計による。立体的な人造物で美しさが感銘を与える点で建築と彫刻は共通する。芸術的な建築の価値を評価したい。

一方、建物の正面を正方形に区切る縦方向の壁は、地震時の揺れにも十分な耐力を持っているか不安を感じる。デザインのためにつくった化